



要求実現にむけて奮闘しました

日本共産党市議団は、切実な市民要求を148項目にまとめて新年度予算要求を行いました。



飯能市立病院 入院ベッドの確保、患者の送迎を実現

飯能市立病院の「縮小・廃止」方針を見直しさせ、入院病床の確保と一般患者の送迎を実現しました。市立病院は医療介護センターとなりましたが、23年4月からは、老人保健施設(29床)と一般入院病棟(19床)、内科外来診療と訪問看護を行います。



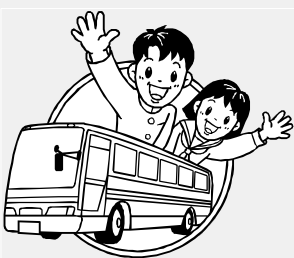
住宅リフォーム助成制度 建設業者の仕事確保に大きく貢献

リフォーム工事費の5%(10万円を限度)を補助する助成制度が実現しました。当初予算で300万円、6月、9月、12月議会の3回の補正で1500万円を予算化。リフォーム需要は4億円を超えました。市内の建設業者や市民から喜びの声が寄せられています。



遠距離通学の高校生等にバス代補助を実現

名栗、原市場、南高麗地域からの通学バス代補助を求める声に応え、住民のみなさんと運動し、年間定期代で10万円を超える生徒に補助する制度を実現しました。12月1日現在で、114名が利用しています。



3つの「学童クラブ」の建て替え・増設

保護者や指導員のみなさんと一緒に、すし詰め状態を解消するために増設を求め、双柳学童クラブ、加治学童クラブは小学校敷地内に、一小学童クラブは体育館西側に増設されました。



障害者のガソリン券 家族まで支給を拡大

支給の対象が障害者本人だけでなく、知的障害者の通所施設への送迎など家族の運転でも利用できるように改善しました。さらに精神障害の方への適用も求めています。



身近な道路整備で500万円の補正予算

市内の中小建設業者の仕事確保と身近な要求実現の立場から、道路、水路、公園、保育所補修などを求めてきました。12月補正予算で身近な道路整備として500万円の補正予算が組まれました。さらに大幅な予算化を求めています。



暮らし・福祉 仕事確保に 全力あげます

日本共産党

今年もみなさんと 力合わせてがんばります

新しい年を迎え、今年こそ良い年にしたいと決意を新たにしています。

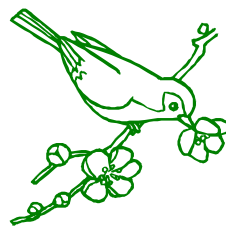
沢辺市長は、市民生活が大変なとき、国保税の大増税や下水道料金的大幅値上げなど市民泣かせの市政を続けています。

日本共産党は、市民の暮らしや営業を守り、切実な要求実現のために、予算要求や第四次総合振興計画後期計画への提言などを行ってまいります。

みなさんと力をあわせて、暮らしや営業を守るために全力で頑張ります。

今年も、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

二〇一一年一月



市議会議員 金子としえ
市議会議員 新井たくみ
市議会議員 山田とし子
市議会議員 滝沢おさむ

飯能市議団報告

日本共産党飯能市議団の議会報告をお届けします。 ●<http://www.hanno-jcp.com/>
2011年1月 新年号 飯能市飯能1237-2 TEL973-1091 FAX 973-1079

“税金のムダ使い”やめて 市民生活に

必要のない莫大な税金投入が
道路整備に

久下六道線 整備計画の見直しを

銀座通り一方通行出口から飯能郵便局の間、350mを16m道路にして、「中心市街地の活性化」を名目に、来年度から予算化しようとしています。昨年の地元説明会でも、多くの反対や疑問の声が出された道路で、この区間だけ16m道路にしたとしても、市街地の活性化にっながるとはとも思えません。日本共産党は、整備計画の抜本的な見直しを求めていきます。



丸広7階フロアー
予算7000万円で

沢辺市長は、「まるひろ救済」と市民の批判が強い丸広東飯能店の7階フロアーを借り上げて、(仮称)市民活動センターを設置することを明らかにしました。賃借料は月105万円、共益費も含めて年間1900万円、建設・備品費は5000万円であわせて「6900万円の予算案を3月議会に提案する」としています。丸広側からの強い要請を受けて、借りることにしたのですが、一企業の救済ではなく、地元商店街振興にこそ力を入れるべきではないでしょうか。

(仮称)飯能大河原線は中止を

市は、「飯能大河原のUR都市機構の造成地に、企業誘致を有利にすすめるために、これまでの大河原永田線の整備では不十分だ」として、岩根橋上流に大橋を架け、(仮称)飯能大河原線を整備すると突然言い出しました。新年度から事業に取り組み計画です。企業誘致で雇用や税収が増えることに期待はあっても、企業団地の開発が全国で破たんし、自治体財政を圧迫しているのが現実です。現在すすめている大河原永田線で十分対応できるのではないのでしょうか。

いっぽうでは

下水道使用料20%値上げなど負担おしつけ

保守
公明
民主

3年後には30%に

市は、一般会計からの繰入金(約7億円)を減らすために下水道使用料金20%(1億1千万円)の値上げを12月議会に提案。保守、公明、民主の賛成で4月からの値上げが決まりま

した。さらに3年後に30%に値上げする意向です。下水道整備が中心目的の都市計画税8億円を徴収し、国からの交付税約1億円がきており、どうしても値上げをしなければ

ならないよ
うな状況で
はありませ
ん。
市民生活がこんなに大変なと
きに値上げは許せません。



増税と負担増で貯め込んだ税金は市民生活に

増税と負担増

飯能市は、「予算がない、財政が苦しい」といって、国保税の増税や負担増、市民サービス切り捨てをしてきました。ところが、21年度決算では15億円の黒字。75億円もの基金を積み立てています。市長が「他市から羨ましがられている」と自慢するほどです。市民に増税と負担増で貯め込んだ税金は、ムダ使いせずに市民生活を応援するために使うべきではないでしょうか。

日本共産党は提案します

- 子ども医療費無料化を小学校卒業まで拡大し、入院、通院を無料化する。
- 国保税を引き下げし、値上げ前に戻す。低所得者に医療費一部負担金を減免する。
- 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンへ助成する。
- 緊急経済対策の実施。

- ①老朽化した橋、生活道路の整備促進 ②失業者の雇用促進 ③住宅リフォーム制度の拡充 ④公共施設・道路・水路等の補修など小規模工事の拡充 ⑤商店街の空き店舗活用制度など。

- 給食調理員を正規採用し、民間委託をやめる。保育士を正規職員化する。
- 全校のクーラー設置と老朽化施設の保守整備を行う。

